【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2006-226999(P2006-226999A)
【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)
【年通号数】公開・登録公報2006-034
【出願番号】特願2006-11880(P2006-11880)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｌ　5/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｂ　7/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｂ　7/30　(2006.01)
Ｇ０１Ｄ　5/244　(2006.01)
Ｇ０１Ｄ　5/245　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　41/00　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　19/18　(2006.01)
Ｂ６０Ｂ　35/18　(2006.01)
Ｇ０１Ｐ　3/488　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｌ　5/00　Ｋ
Ｇ０１Ｂ　7/00　１０１Ｍ
Ｇ０１Ｂ　7/30　Ｍ
Ｇ０１Ｄ　5/244　Ｂ
Ｇ０１Ｄ　5/245　Ｖ
Ｆ１６Ｃ　41/00
Ｆ１６Ｃ　19/18
Ｂ６０Ｂ　35/18　Ａ
Ｇ０１Ｐ　3/488　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年11月26日(2008.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上述の様に構成する先発明の荷重測定装置の第１例の場合、上記中立状態では、上記両センサ１２ａ、１２ｂの検出信号の位相が互いに一致する。これに対して、上記外輪３と上記ハブ４との間にアキシアル荷重が作用すると、これら外輪３とハブ４とが軸方向に相対変位する結果、上記１対のセンサ１２ａ、１２ｂの検出信号の位相がずれる。そこで、このずれの方向及び大きさ（実際の場合には、上記両センサ１２ａ、１２ｂの検出信号の１周期に対するずれの大きさの比）に基づいて、上記アキシアル荷重の方向及び大きさを求められる。尚、上記ハブ４の回転速度は、何れかのセンサ１２ａ（１２ｂ）の検出信号の周期或いは周波数に基づいて求められる。